

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和7年 9月30日)

事業コード	R7-建-継-02	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)	部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)	チーム名	道路建設チーム (tel)018-860-2492
路線名等	一般国道285号	担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	五城目町富津内	担当者名	チームリーダー 高野 健一
プランとの 関連	戦 略	防災・減災交通基盤	
	目指す姿	交流を支える交通基盤の強化	
	施策の方向性	高速道路等の整備	

1. 事業の概要

事業期間	H28 ~ R14 (17年)	総事業費	51.8 億円	国庫補助率	0.649	
事業規模	○延長L=3,300m、幅員W=6.5(9.5)m (1.5+3.25+3.25+1.5)m 一部歩道あり					
事業の立案 に至る背景	○一般国道285号は、秋田市を起点に北秋田市を経て鹿角市に至る幹線道路であり、秋田市と県北部を最短距離で結ぶルートとして、産業・経済の地域間交流を促進するほか、十和田八幡平及び阿仁森吉山観光を支援する観光道路の機能を有する重要な路線である。 当該区間の車道の幅員は狭く急カーブも連続していることから、事故多発等、車両の安全な通行に支障をきたしている。第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を行う必要がある。					
事業目的	○第二次緊急輸送道路としての機能確保 ○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性の向上 ・通過交通の排除による沿線住の安全性向上					
事業費内訳 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増 減	理 由 等
	事 業 費		3,400,000	5,180,000	1,780,000	
	経 費	工 事 費	2,740,000	4,400,000	1,660,000	機材物価等の上昇に伴う増調査・設計結果による橋梁構造等の決定による増
	内 訳	用 補 費	190,000	310,000	120,000	用地費及び補償費精査による増
		そ の 他	470,000	470,000	0	
	内 訳	国庫補助	2,006,000	3,361,820	1,355,820	
		県 債	1,254,600	1,636,362	381,762	
そ の 他		0	0	0		
事 業 内 容		139,400	181,818	42,418		
事業内容		調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工			
事業の進捗 状況	○令和6年度末で事業進捗率25% (用地進捗率は76%)					
事業推進上 の課題	○特になし					
関連する計 画等	○五城目町総合発展計画					
情勢の変化 及び長期継続 の理由	○特になし					
事業効果把握 の手法及び効果	指 標 名	県管理道路における道路改築率(年度)				
	指 標 式	改築率(県管理道路改築済延長/県管理道路実延長)				
	指 標 の 種 類	● 成果指標 ○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	52.2% (R7末)	データ等の出典	県調べ		
	実 績 値 b	52.2% (R6末)	把握の時期	令和7年4月		
達成率 b/a	100.0%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○曲線半径が100m未満の急カーブが存在し、視距不足により車両の通行や道路を横断する沿道住民の安全性に支障を来している。また、大型車の交通量が多く、急カーブが原因でセンターラインからはみ出す車も多い。 ○当該工区では事故が発生しており、急カーブ付近では車両の相互事故による重傷者、死亡者も発生しているため、早期に整備する必要がある。 	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○五城目町総合計画の中で道路網を交流促進の重要基盤とし、その中でも国道285号を主軸と位置づけ、未整備区間の早期整備を促進することとしている。 ○当該工区起点側及び終点側は改良済みとなっており、一連の効果を発揮するため早期に整備する必要がある。 ○現況交通量に対する規定車道幅員が不足しており、車両の安全な通行に支障を来している。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○当該路線は第二次緊急輸送道路に指定されているが、当該区間は線形が悪くまた迂回路も無い。道路整備を行うことにより走行性・信頼性を向上させる。 ○救急医療施設へのアクセスが改善され、救命救急体制の強化が期待できる。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の費用便益比は1.26であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 61.6億円 ・総費用の現在価値 48.9億円 ○発生土を盛土材に使用しコスト削減を図っている。 	20点
熟 度	○令和6年度末の事業進捗率は25%である (用地進捗率は76%)。	14点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ)	87点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

他工区の建設発生土を盛土材に使用する等コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R7-建-継-02)
箇所名 (五城目町富津内)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	5	・最小半径50m ・冬期堆雪巾なし 2箇所	
		2箇所	5			
		1箇所	3			
		該当箇所なし	0			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≥1.0 ・走行速度≤30km/h ・現道の事故率≥50件 ・重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし ・バス路線で歩道なし	3項目以上該当	7	5	・現道の事故率100件 ・重大事故が発生 2項目	
		2項目該当	5			
		1項目該当	3			
		該当項目なし	0			
	計			15	10	
	緊急性	道路を取り巻く環境等				
関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業		あり	5	5	五城目町総合発展計画	
		なし	0			
緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等		あり	5	5	現況交通量に対し、車道幅員が不足	
		なし	0			
同一路線の整備状況		整備済み	5	5	整備済み	
	未整備	0				
計			15	15		
有効性	道路の位置付け					
	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8	6	第2次緊急輸送道路	
		第2次輸送道路	6			
		第3次輸送道路	4			
		指定なし	0			
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	7	7	秋田厚生医療センター	
		アクセス性向上に貢献	5			
		アクセス性向上に一定の効果	3			
	観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献	7	7	道の駅五城目	
		活性化に貢献	5			
		活性化に一定の効果	3			
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	重要物流道路代替・補完路		
	必要性が低下傾向	4				
	必要性が著しく低下	0				
計			30	28		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.26	
		1.0未満	0			
	計画交通量	4,000台/日以上	5	5	8,600台/日	
		1,000台/日以上4,000台/日未満	3			
		1,000台/日未満	0			
	コスト縮減	あり	5	5	他工区の発生土を盛土材に使用	
		なし	0			
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス	
		既投資額の部分的損失	4			
既投資額の損失が少ない		3				
計			20	20		
熟度	事業の進捗状況					
	事業の推進	地域や市町村からの要望書等が提出されている	6	6	地域からの要望書あり	
		地域や市町村からの要望書等が未提出である	0			
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	7	3	25%	
		5割以上完了	5			
		1割以上完了	3			
		1割未満	1			
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	7	5	76%	
		5割以上完了	5			
		1割以上完了	3			
		1割未満	1			
未着手		0				
計			20	14		
合計			100	87		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		